

5月の行事

年度が替わり先月から新たに《誕生日会》を開くこととなりました。その月生まれの方を対象に月末に誕生日会を開催いたします！その日の食事やおやつはいつもと違ったものを用意させていただき、午後からは誕生日会の特別な日程で大いに楽しんでもらいたいと思います★

新たに始まることがあれば、復活することもございます！！

長らく行われていなかった《おやつ作り》を今年度は定期的に行いたいと思います♪

みなさんお腹を空かせて楽しみにしててくださいね♥



4月の様子

今年の花見はあいにくの雨に見舞われ車内からの花見になってしまった日もあり、少し残念でしたね★

でも、みなさまからは「ドライブできてよかった」「気分転換になって楽しかったよ」と言っていただけでした♥

来年はちゃんとテルテル坊主を作ってお天気の方も万全の準備を整えたいと思います！！

福德円満録



杖は古代エジプトやオリエントでは王や神の尊厳や威光のシンボルとして用いられてきました。知恵者はみな高齢者のため、自然と杖をついているイメージからきていると思われます。中世には君主や僧侶の表徴として不可欠であり、貴婦人のアクセサリーとして11世紀に出現し、18世紀にはロココ調の細くて高いヒール靴にあわせて全盛をみたといわれています。19世紀はステッキとして流行があり、イギリスでは紳士にとって重要なアクセサリーでもありました。

近年、医学を象徴するシンボルマークとして中央に杖がありへびが巻きついているマークを救急車や消防本部でよく見受けられるようになりました。杖は旅行者の使う杖であり、へびは知恵を表しています。古代ギリシャ神話に出てくるアスクレピウスという医学神が持っていた杖が由来しています。このシンボルは世界保健機構の切手にもデザインされており、現在多くの国で救急のシンボルにこのロゴが使用されています。

杖に関係することわざも数多く存在します。“転ばぬ先の杖”や“杖とも柱とも”など多くが知られています。“杖ほどかかる子はない”の意味は杖と同じほど頼りになる子はいないという意味であり、杖は頼りになるといった良い意味合いが多く存在します。

杖は「知性」「信頼」「お洒落」を兼ね備えた我々の生活になくてはならない道具の一つですね。やっぱり杖はつええ～なあ～！！

